

# 市立芦屋病院改革プラン評価調書

平成22年7月

## 市立芦屋病院改革プラン評価調査書

達成度【計画通り=○, 計画以上=◎, 計画未満=×】

大	中	小	H21目標	自己評価		評価委員会	
				H21実績	達成度	達成度	評価の視点と指導、助言等
I 病院改革の 取り組み	1 経営形態の 見直し	(1) 自己決定・自己 責任原理の確立	地方公営企業法の全部適用	平成21年4月1日より、地方公営企業法の全部を適用し、専任の事業管理者を設置	○	○	
			事業管理者の下での機構改革(意識改革), PDCAサイクルの徹底	管理者、病院長, 両副病院長, 診療局長, 看護局長, 事務局長の出席の下で, 8:15~毎朝開催	○	◎	よくやっておられる。色々な所で直接的・間接的に成果が発揮されてくるであろう。
			(朝礼)	毎週火曜日8:45~定時開催	○	◎	
			(企画会議)	毎週火曜日16:30~定時開催	○	○	よくやっておられる。色々な所で直接的・間接的に成果が発揮されてくるであろう。
			(改革プラン評価委員会の開催)	四半期ごとに開催	○	○	
			全部門対象のヒアリング及びマニフェストの作成	上期, 下期の半期ごとに開催	○	○	
		(2) 医療資源の確保 ・育成	各種研修会の拡充	管理者からのメッセージ他	○	◎	多くの研修会が開催され, 効果が期待される。
				給与体系の整備	医療職給料表(Ⅱ, Ⅲ)の導入と医療専門事務職給料表の新設	○	○
			各種手当の見直し		○	○	経営の改善とともに段階的に見直す方法もあったのではないか
			管理職員の範囲と手当の見直し		○	○	
			人事評価システムの構築	人事制度研究会の設置と評価制度の導入(平成22年4月1日実施)	○	○	
			資格取得支援策の充実	資格取得支援貸付の実施(認定看護師×2, 臨床工学技師×1)	○	○	認定看護師等の部分はよくがんばっておられる
			臨床研修医の確保 (1)指導医の確保等	研修指導医の確保, 研修システムの充実等により初期研修医2名を確保	○	◎	研修医を2名確保できたのはよかった。
			(2)給与等の処遇改善	後期研修医1名を確保	○	○	
		(3)大学とのたすき掛け 研修の実施		×	×		
		(ワークライフバ ランスの実現)	短時間勤務医師の採用	6h30m/日の勤務医を採用	○	○	
			適切な就労管理	勤怠システムの導入(平成21年5月~)	○	○	
			院内保育所の充実	全日開所と夜間保育の実施	○	○	
			リトライ研修の実施	看護師の復職支援プログラムの実施	○	○	
		(3) 病院専属職員の 確保・育成	病院専門事務職員給料表の導入	平成21年10月1日実施により, 専門事務職員7名を採用(病院事務経験者)	○	◎	経験者導入による効果を整理してください
			医事企画部門の強化 人事・労務部門の強化 経営戦略部門の強化	医事・企画担当として3名を配置 人事・労務担当として2名を配置 経理・会計担当として2名を配置			

項 目			H21目標	自 己 評 価		評 価 委 員 会	
大	中	小		H21実績	達成度	達成度	評価の視点と指導、助言等
		(4) 予算の弾力的かつ効率的な執行	病院独自の勤務・給与体系の確立	行政職給料表の廃止と新給料表(医療職Ⅱ,Ⅲ表及び医療専門事務職給料表)の導入	○	○	経営の改善とともに段階的に見直す方法もあったのではないかと
			二交代制勤務病棟の拡充	働き方の選択肢を拡充	○	○	
			非正規雇用の賃金・勤務体系の見直し		×	×	
			複数年度契約の対象範囲の拡大		×	×	
			管理会計の導入	診療情報データベースの構築	×	×	
2	病床数の適正化	(1) 許可病床数の適正化	272床から199床への適正化を実施	市立芦屋病院の設置等に関する条例の一部を改正する条例が可決され、平成22年1月から199床で運営開始(一般病床) ※工事期間中は一般165床、新病棟完成後は一般175床、緩和24床で運営	○	○	
3	診療機能の充実	(1) ハーモニー医療の確率(調和の医療)	チーム医療の拡充	他科紹介、共観の実践	○	○	
		(2) 地域・医療圏域内の中核病院としての役割	病病連携	県立西宮病院、市立西宮中央病院との間で公立三病院ネットワーク協議を開始し、診療機能別相互支援を模索 ※県立西宮病院との間でマタニティネットワークを構築、現在救急医療体制、医療機器のオープン利用等について協議を継続	○	◎	マタニティネットワーク等、特化したところで病病連携を結んでおり評価できた。
			病診連携	医療安全研修会の開催	○	○	
			がん診療機能の充実	外科、血液内科に専門医を確保	○	○	特徴ある医師が確保されて今後が期待される。
				がんフォーラム2009の開催(参加者300名)、リレーフォーライフへの参画	○	○	
			外科診療体制の拡充	副病院長、後期研修医及び常勤麻酔科医を確保	○	◎	
			緩和医療チームの確立	緩和医療認定看護師の育成に着手、言語聴覚士、理学療法士の確保等	○	○	
			在宅医療推進の取り組み	訪問看護認定看護師の確保	○	○	
政策医療の実践	がんフォーラム2009の開催(参加者300名)、リレーフォーライフへの参画	○	○	ガンフォーラムだけでは政策医療の実施にならない。民間病院が担うことが困難な政策医療の提供と医療保健福祉改革が主では。			

大	中	小	H21目標	自己評価		評価委員会		
				H21実績	達成度	達成度	評価の視点と指導, 助言等	
4	(3) 患者視点の医療情報提供		病院機能評価(Ver.6)を取得	平成22年3月16~18日受審	○	◎	当初の考え方にもっと先の計画であった。短期間での取組みは評価される。	
			広報活動の充実	新たに地域の診療所向けの地域連携室日より「UptoDate」を発刊, 当院のあらたな診療機能等を紹介	○	◎		
			あしや広報チャンネルの活用	市立芦屋病院「地域医療の再生を目指して」, 「認定看護師の活躍」などをオンエア	○	○		
	(4) 高度医療の充実		高度医療機器の整備	マルチスライスCTの活用	○	○		
			内科二次救急の充実	内科の救急体制に関しては, 大部分を応援医師が担っているのが実態でありシステムの検証が必要, 小児科の輪番制に関してはその責任を果たしている	×	×		
			外科二次救急の実施	外科・整形外科を中心に幹部会議において協議を重ねたが実施に至らなかった	×	×		
			産科・小児科ネットワークの構築	産科に関しては県立西宮病院とのマタニティネットワークを構築, 産科由来の小児救急はネットワークで対応, それ以外は医療圏内の県立塚口病院が後送病院	○	◎	マタニティネットワークに関しては◎である。	
	5	(1) 救急医療の拡充		消防救急隊とのネットワークの充実	月例の救急委員会への参加を経て, 救急隊の適切なトリアージによりスムーズな受け入れが可能となっている	○	○	
				(1) 大学との連携	当院の診療ビジョンを周知する	管理者・病院長の大学訪問が頻回となったことから, 当院の将来ビジョンと各大学との連携は強化された	○	○
		(3) 地域連携		保健	がんフォーラム2009の開催とともに, 人間ドック受信日の拡大, マンモ健診・子宮がん検診の土曜実施などを行った	○	○	
医療				三病院ネットワークバスの運行開始(平成21年6月), リレーフォーライフ, ピンクリボンウォークなどの社会的医療活動への参加など	○	○	ネットワークバスは, 最近よく見かけ, たくさんの人がのられている。	
福祉				訪問介護認定看護師の確保, 地域連携室の強化などにより, 在宅, 施設との連携機能を拡充	○	○		
(4) 市との連携				健康増進, 予防医療の拡充	がんフォーラム2009の共催	○	○	
		行政施策との連携	乳がん・子宮がん検診日の拡充	○	○			
							新型インフルエンザ等の取り組みについてこの項目以外で評価していく必要があるのでは。紹介率の低下がみられるが, 紹介率をあげていく事は今後の医療のあり方の中で大事である。課題を残しながらの取組みは評価できる。	

大	中	目	H21目標	自己評価		評価委員会	
				H21実績	達成度	達成度	評価の視点と指導、助言等
		(5) 循環器医療ネットワークの構築		公立三病院ネットワーク協議を進めたが未了	×	×	
		(6) 院内開設診療所との連携		連絡協議会の開催(年2回)	×	×	院内でとの事であり協力関係の充実を期待する
6	経営効率化	(1) 収入の確保に関する事	医療の質の確保に向けて数値目標を設定する	上期, 下期の半期ごとに院内マニフェストを策定し, 定期開催の企画会議において進行管理を行った。対象は各診療科, 各種委員会等	○		
		(2) 給与費の適正化に関する事	各種給料表を抜本的に見直す	医師職給料表, 行政職給料表の二本立てから, 医師職, 看護職, 医療技術職, 医療専門事務職の四本立てに改定し, 同時に各種手当の見直しを行った	○	○	適正な給料表としたことは評価できるが, 人件費率が目標を上回っている。人件比率改善の方策を明確にすることを期待。
			人事評価制度の結果を給与等の処遇に反映させる	平成22年度4月実施のための人事評価制度を構築した	○		
		(3) 経費節減に関する事	病床数の見直しに応じた人員配置及び委託仕様に適正化する	医療技術職, 委託業者, 派遣職員, 事務職員等の配置の適正化に着手した	×	×	病床数が変わるのはあらかじめ分かっていたことなので, もっと先にやっておくべきであった。
7	(1) 診療環境の向上	救急診療機能の拡充	実施設計に反映	○	○	実際に実施設計をみたわけではないので, 評価は難しい。要点だけでも説明していただければある程度評価はできるのではなかったでしょうか。	
		がん診療機能の強化	実施設計に反映	○	○		
		内視鏡センターの設置	実施設計に反映	○	○		
		LDR室の新設	実施設計に反映	○	○		
	(2) 療養環境の向上	検査機能の集中化	実施設計に反映	○	○		
		個室率の向上	実施設計に反映	○	○		
		病床面積の拡大	実施設計に反映	○	○		
		家族・コミュニティエリアの充実	実施設計に反映	○	○		
		駐車場の拡充	実施設計に反映	○	○		
		屋上庭園の設置	実施設計に反映	○	○		
(3) 災害拠点に関する事	耐震ランクAを確保	実施設計に反映	○	○			
	非常時収容スペースの確保	実施設計に反映	○	○			
	ライフラインの二重化	実施設計に反映	○	○			

項		目	H21目標	自己評価		評価委員会	
大	中	小		H21実績	達成度	達成度	評価の視点と指導、助言等
Ⅱ 経営目標	1 数値目標の設定と進行管理	(1) 病床稼働率	80.0%	76.8%	×	×	平均在院日数の低下が原因？看護部が頑張っただけではなかなかあがらない。
		(2) 診療単価(入・外)	35,250(入) 8,000(外)	36,273(入) 7,879(外)	○	○	平均在院日数等を絡めてみれば、診療単価が上昇していることは医療の質がよくなったと考えていいことである。
		(3) 経常収支比率	81.6%	83.6%	○	○	
		(4) 医業収支比率	76.3%	82.1%	○	○	
		(5) 人件費比率	73.7%	78.7%	×	×	目標をクリアできていない。78.7%は高い。単に給与等を抑えるという方法ではなく、人件費率を改善する具体的方策の検討が必要。

## 【市立芦屋病院改革プラン実行策】

	改革プラン	診療科	実行策	単位	20年度	21年度(実績)							目標設定根拠等		
					実績数値	目標数値	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計	到達差		到達割合	
収益に関するもの	3. 診療機能の充実 (2) 地域中核病院及び二次医療機関としての役割 ① 基本診療の機能強化 検査のパフォーマンスをさらにあげることで、基本的診療の充実につなげる。 ② がん診療 現在行なっている施術のパフォーマンスを増すことでがん診療機能の充実をはかる。内科医・外科医の増加も見込む。 ③ 循環器系疾患 実績あり増加も見込めるペースメーカー埋込術と下肢ASO治療 ④ 糖尿病 需要の多い糖尿病治療について、健診・栄養指導・教育入院・服薬指導・眼科手術を通じて診療件数の増加を見込む。	放射線科	1 放射線検査実施件数の増加(CT)	件	4,685	5,000	1,255	1,399	1,360	1,210	5,224	224	104.5%	現行26件×245日(1件15分で運用) + 紹介等により毎年1日2件増想定	
		放射線科	2 放射線検査実施件数の増加(MRI)	件	2,532	2,750	653	777	817	752	2,999	249	109.1%	現行13件(予約枠) + 4件(外来) × 245日(1件20~30分で運用中) + 毎年1日2件増想定	
		放射線科	3 単純撮影件数の増加	件	14,950	16,000	4,354	4,363	4,661	4,259	17,637	1,637	110.2%	現行単純撮影機2台×31件×245日から紹介患者による増加を見込む。肺疾患の検査増加を見込む。	
		放射線科	4 超音波検査(断層撮影法)	件	2,163	2,500	563	607	586	585	2,341	▲ 159	93.6%	現行2台×5件×245日(午前のみ)で運用中。肝臓疾患が多い。特定健診での糖尿病・循環器医療ともリンク。医師による撮影。	
		内科・臨床検査科	5 頸動脈エコー	件	167	200	79	78	62	58	277	77	138.5%	循環器内科にリンク	
		臨床検査科	6 細胞診検査	件	2,140	2,200	621	695	746	702	2,764	564	125.6%	婦人科・子宮がん検診等とリンク	
		臨床検査科	7 病理検査	件	1,271	1,100	300	351	367	300	1,318	218	119.8%	胃腸中心。内視鏡とリンク	
		臨床検査科	8 救急外来・外来緊急・通常検査	件	41,805	43,000	11,395	16,810	18,245	22,679	69,129	26,129	160.8%	血液・生化学・心電図等	
		共通	9 個室病室の増加	千円	114,797	135,505	33,681	34,227	36,733	37,676	142,317	6,812	105.0%	平成24年度より新病棟にて新料金設定	
		内科	10 内視鏡実施件数の増加	件	2,531	2,600	695	743	797	633	2,868	268	110.3%	上部・下部合計数。現体制で、上部は1日10件(医師4人)で2,450件、下部は1日4件(医師2人)で最大980人。外来勤務との調整を含め、紹介患者等の増加を見込む。	
		外科	11 消化管・乳腺のがん手術(腹腔鏡実施件数の増加含む)	件	153	100	37	49	88	78	252	152	252.0%	胃・大腸・乳がん等対応	
		内科	12 ラジオ波焼灼術実施件数の増加	件	17	30	10	8	5	2	25	▲ 5	83.3%	現在は担当内科医2名。症例患者の紹介とあわせ担当医師育成・募集を見込む。	
		内科	13 化学療法件数の増加(外来)	人	365	350	91	64	68	69	292	▲ 58	83.4%	腫瘍内科医1名の増加を見込む。入院治療とは比例しない。	
		内科	14 化学療法件数の増加(入院)	人	579	350	104	115	176	211	606	256	173.1%	同上	
		薬剤科	15 薬剤管理指導件数の増加	件	3,043	2,900	1,005	1,186	1,308	1,267	4,766	1,866	164.3%		
		内科	16 がん検診の増加	人	471	1,300	308	499	532	499	1,838	538	141.4%	肺・消化器がんや婦人科(乳・子宮がん)を中心に行う。	
		麻酔科	17 疼痛外来実施数の増加	人	1,028	1,700	259	250	233	297	1,039	▲ 661	61.1%	麻酔科1名の増加を見込む。	
		共通	18 緩和ケア病棟入院料の算定	人											平成24年度より新病棟にて導入
		内科	19 ペースメーカー埋込術の増加	件	7	10	3	0	1	2	6	▲ 4	60.0%		
		内科	20 下肢ステント留置治療の実施	千円		5	0	0	0	0	0	▲ 5	0.0%		
		内科	21 健診受診者の増加(特定健診)	件		180	58	73	103	25	259	79	143.9%		
		内科	22 健診受診者の増加(人間ドック)	件	708	750	186	206	227	203	822	72	109.6%	1日4件→6件、共済等新規連携も見込む。	
		栄養科	23 糖尿病患者を含む生活習慣病の栄養指導(個別)	件	361	650	177	209	164	142	692	42	106.5%		
		内科	24 糖尿病患者の教育入院の実施	件	9	50	12	7	3	9	31	▲ 19	62.0%		
		内科	25 糖尿病疾患の外来患者の確保	件	1,210	1,200	749	1,539	1,308	1,456	5,052	3,852	421.0%		

【市立芦屋病院改革プラン実行策】

	改革プラン	診療科	実行策	単位	20年度	21年度(実績)							目標設定根拠等		
					実績数値	目標数値	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計	到達差		到達割合	
収益に関するもの	⑤ 外科体制の充実 消化器系を中心とし、腫瘍内科との連携や紹介 ⑦在宅医療推進  ⑨チーム医療の強化 ⑩その他	薬剤科	26 糖尿病患者の薬剤管理指導	件	243	700	85	83	83	74	325	▲ 375	46.4%		
		眼科	27 糖尿病患者の白内障OPの増加	件	57	80	32	27	34	29	122	42	152.5%		
		眼科	28 糖尿病患者の網膜光凝固術OPの増加	件	15	40	6	14	12	9	41	1	102.5%		
		外科	29 手術件数の増加	件	349	350	102	102	114	120	438	88	125.1%	当院は現在消化器系が中心。専門医の広報や患者紹介による新患の掘り起こしを見込む。点数は過去1年間の主な外科手術費用から平均積算	
		麻酔科	30 麻酔の増加	件	185	240	61	68	61	102	292	52	121.7%	外科手術の増加とリンク・全麻件数	
		リハビリ	31 リハビリテーション	件	13,201	12,400	3,123	3,770	5,320	5,159	17,372	4,972	140.1%	術後のケアを含みリハビリ。H21.6言語聴覚士1名増。	
		栄養科	32 術前・術後の栄養食事ケア	件	99	150	50	83	117	88	338	188	225.3%		
		整形外科	33 整形外科OPの増加	件	101	120	12	10	28	25	75	▲ 45	62.5%	人工関節置換(肩・股・膝)の施術紹介患者を見込む。	
		産婦人科	34 分娩数の増加	件	37	100	16	16	16	5	53	▲ 47	53.0%	平成24年度よりLDR設置も見込む。	
		内科	35 T A E (動脈塞栓)	件	57	55	7	6	47	20	80	25	145.5%	肝がんなど、検査件数に比例する。	
	共通	【再掲】放射線検査実施件数の増加 (CT)	件	(4,685)	(5,000)	(1,255)	(1,399)	(1,360)	(1,210)	(5,224)	224	104.5%			
	共通	【再掲】放射線検査実施件数の増加 (MRI)	件	(2,532)	(2,750)	(653)	(777)	(817)	(752)	(2,999)	249	109.1%			
	内科	【再掲】内視鏡実施件数の増加	件	(2,531)	(2,600)	(695)	(743)	(797)	(633)	(2,868)	268	110.3%			
	外科	【再掲】腹腔鏡実施件数の増加	件	(153)	(100)	(37)	(30)	(21)	(20)	(108)	8	108.0%			
	内科	【再掲】ラジオ波焼灼術実施件数の増加	件	(17)	(30)	(10)	(8)	(5)	(2)	(25)	▲ 5	83.3%			
	4. 救急医療の充実	(1) 救急医療の拡充													
		① 救急医療の役割 ② 内科救急の充実 ③ 外科救急の拡充 ④ 産科・小児科医療ネットワークの構築 ⑤ 消防救急隊とのネットワークの構築	救急	36 消防隊との連絡会の実施	回	12	12	3	3	3	3	12	0	100.0%	
			救急	37 救急による外来患者増加	人	2,814	2,500	632	771	1,044	486	2,933	433	117.3%	救急患者受付表による数値。新病棟ICUにより患者受入態勢の増加を見込む。
		救急	38 救急による入院患者増加	人	722	750	154	190	224	232	800	50	106.7%	救急患者受付表による数値。新病棟ICUにより患者受入態勢の増加を見込む。	
5. 関係機関との連携強化	(1)大学との連携 (2)医師会との連携 (3)地域連携の強化 (4)医療と市の連携 (5)循環器医療ネットワークの構築 (6)院内開設診療所との連携	地域連携室	39 患者紹介率の増加	%	47.1	40.0	43.7	41.6	38.5	41.6	41.3	1.3	103.3%	内科・小児科・外科・CT・MRを中心に需要あり。現行3,500人/月÷9,500人(入院+外来患者数)/月=36.8%(他院→当院)から地域支援病院基準値を目標とする。	
		地域連携室	40 逆患者紹介率の増加	%		28.5	40.7	54.9	52.9	55.3	51.0	22.5	178.9%	現行2,600人÷9,500人=27.4%(当院→他院)から地域支援病院基準値を目標とする。	
		共通	41 地域医療機関との交流会(勉強会)の開催	件	3	12	1	1	0	1	2	▲ 10	16.7%		
		共通	42 院内開設診療所との連絡会の実施	回	1	12	1	1	0	0	2	▲ 10	16.7%		



【市立芦屋病院改革プラン実行策】

	改革プラン	診療科	実行策	評価指標	20年度	21年度		コメント			
					実績数値	見込数値	3月現在				
費用に関するもの	1. 経営形態見直し	(2) 医療資源の確保及び育成	① 人員体制	内科	1 内科医師の確保	医師数 (常勤・人)	9	10	11	総合内科に1名（部長級）21年10月より採用。	
				外科	2 外科医師の確保	医師数 (常勤・人)	4	4	5	21年9月に外科医（副病院長）着任	
				麻酔科	3 麻酔科医師の確保	医師数 (常勤・人)	1	1	2	H22. 1に麻酔医 1名 採用	
				看護科	4 看護師の確保	看護師数 (常勤・人)	115	131	122	再任用含まない	
				その他	5 医療技術職の確保	職員数 (常勤・人)	26	23	27	経営企画室3人を含む・H21. 10からリハビリ 1名増。	
				その他	6 病院専属職員の確保	職員数 (常勤・人)	0	5	7	21年10月採用の試験試験実施(H21. 8)嘱託→正規含め7名採用。	
						職員数(市派遣) (常勤・人)	9	9	9		
	6. 経営の効率化	(2) 給与費の適正化に関すること	① 給料表の見直し	その他	資格職に応じた給料表の策定						H22. 4より適応
					7 医療職	増減率 (%)	2.92				
					8 看護職	増減率 (%)					
					9 医療技術職	増減率 (%)					
					10 事務職	増減率 (%)					21年10月に医療専門事務職のみ新給料表適用
		(3) 経費削減に関すること									
	① 材料費の見直し	その他	11 目標材料費比率の設定	医業収益材料費比率 (%)	17.2	23.0	16.3	材料費19年度18.6			

【市立芦屋病院改革プラン実行策】

	改革プラン		実行策	評価指標	20年度	21年度		備考	
					実績数値	目標数値	3月現在		
その他に関するもの	1. 経営形態の見直し	(1) 自己決定・自己責任原理の確立							
		③ セルフイノベーション	共通	1 院内研修会の実施	実施件数(件)	2		9	院内暴力・経営管理・がん政策医療・輸血と栄養の基礎知識・リハビリと栄養・がん登録について・終末期医療について・医療機器の安全管理・医の倫理
		(2) 医療資源の確保及び育成							
		② 勤務体系	共通	2 認定・専門医師の人数	認定・専門医師数(人)	12	12	19	血液・糖尿病・総合内科医
		共通	3 認定・専門看護師の人数	認定・専門看護師数(人)	2	3	2	がん化学療法看護・緩和医療・救急看護・糖尿病看護認定看護師を見込む。	
	⑦ 臨床研修医確保への取り組み	その他	4 臨床研修医のマッチング件数	マッチング件数(件)	1	2	2	H21.10確定	
	5. 関係機関との連携強化	(3) 地域連携の強化							
		③医療	その他	5 市民公開講座等の実施	公開講座等実施件数(件)	16	16	37	市民センターで公開講座8回、院内で糖尿病・肝臓病・両親教室実施中
			その他	6 市広報誌への掲載	広報誌掲載回数(回)	24	24	14	別枠特集記事20年度16回・21年度9月までに8回あり
			その他	7 病院ホームページの充実	ホームページ更新回数(回)	24	24	32	
			その他	8 市民意見の把握	市民アンケート実施回数(回)	1	1	2	建替え説明会(H21.4) 患者満足度調査の実施(H21.12)
	(参考) 継続した経営改善の取り組み								
			その他	9 病院機能評価の再取得	準備委員会の設置		準備(申請検討)	H22.3受審	H22.3 機能評価受審
		共通	10 クリニカルパスの拡充	在院日数(日)	18.6	17.8	17.4		亜急性期含む
		その他	11 DPCの有効活用	他の医療機関との比較分析					H22.4よりDPC導入
		その他	12 電子カルテ等、IT化の推進	システム構築					
		共通	13 医療安全対策室の設置	対策室設置			設置	H21.4設置	リスクマネジメント委員会の上部組織として設置
		共通	14 インフォームドコンセント	医療基礎情報の提供	開始				診療情報提供・退院時リハビリ指導・服薬指導・栄養指導・処方せん発行
		共通	15 セカンドオピニオン外来の拡充	外来患者数(人)			5	1	H21.11より開始
		その他	16 コーポレートエシックスの確立	倫理構築	開始				
		その他	17 診療待ち時間の改善	待ち時間調査の実施回数(回)			2	1	
	その他	18 ハード、ソフト両面にわたるアメニティの向上	医療・療養環境整備	開始					
	共通	19 医療ライブラリの構築(ITの高度利用)	広報・インターネット	開始					
	その他	20 クレジットカード決済	医事会計	H21.1開始				H21.4にデビットカードの利用も対応可能	
	その他	21 ボランティア等との協働再構築	各団体との連携			開始			
	共通	22 職員一人一改善運動の展開	改善運動			開始			